



1学期が終了しました

授業日数77日間の1学期が終了しました。日々の学校生活を大切に、一人ひとりが頑張ると同時に、学級・学年を中心とし全校生が「輪」になり取り組んできました。頑張ったことが、結果に表れたこともあれば、うまくいかなかったこともあったと思います。これまでの取り組みを振り返り、また2学期から頑張っていきましょう。

私たち三年生は、一学期に様々なことを経験し成長できた場面が多くありました。

特に私たちが大きく成長できたと思うのは修学旅行です。数か月の間、より学びのある旅行にするため話し合いを重ね、行先やルールを自分たちで決めました。当日は各班がそれぞれのテーマに向かって都内を巡り、東京でしか味わえない多くのことを体験できました。それとともに、時間を守るために先を見て行動すること、物やお金を管理することの大切さと難しさを学びました。誰一人欠けることなく班で行動し、自分たちで決めたルールをしっかりと守り、無事に修学旅行を終えることができました。修学旅行が終わってからの学校生活では、東京での班行動を生かし、グループ学習などで「チーム」として課題に向かって団結して訊きあい、学習に取り組むことができました。

一学期で成長できたことがある半面、課題もありました。私たち三年生はボランティアやあいさつ運動にまだまだ参加できていると思います。下級生の手本となるようボランティアやあいさつ運動に積極的に参加し、二・三学期は三年生を筆頭にボランティアやあいさつ運動ができるように頑張っていきたいです。

また、個人としても学年としても宿題の提出率が低くなってしまうことがあり、受験に対しての意識が低く思うような結果を出せていないのが現状だと思っています。そこで私は宿題をその場しのぎで終わらせず、自分のためになる学習をしていけるようにしていきたいと思っています。そしてこの夏、勉強が楽しいと思えるくらい、受験勉強に取り組んでいけるようにしたいです。三年生のみならず、ぜひ目標を掲げて夏休みを過ごし、「チーム」でこの夏を乗り越え、勉強を楽しんでいきましょう。

三学年代表 鈴木大輔

二年生に進級し、この一学期を振り返ってみると、二年生全員が集団の一員としての役割やクラスの係、委員会活動に取り組んでいました。また、一年生を迎え、大江中の柱として手本を示す立場となり、色々な場面で考えて行動できるようになってきたと感じています。一学期を振り返って感じたことは、「準備の大切さ」です。

五月にブリティッシュヒルズに英語研修に行きました。研修を行うにあたり、学年自治会のスローガンである「自立」をスローガンに掲げ研修を行いました。私は、保健係の係長として活動しました。全員が、元気で安全に研修を行えるように、研修の前後に健康観察を行いました。その結果、全員が自分の体調を管理し、二日間誰も体調不良にならず研修を終えることができました。研修前に実行委員で何度も話し合いをし、小さなことでも、その後どんなことが起こりそうか想像して物事を決めたり準備したりした結果だと感じました。また、学習面では、一年生の最初のテストから徐々に点数が伸び、今回の期末テストでは、これまでの最高点を出すことができました。その理由として、勉強の仕方があると思います。今までは、ワークを繰り返し解くことはもちろん、ノートやプリントなどにメモをしている重要単語などを復習して勉強していましたが、今回は、今まで行ってきたことにプラスして、「教科書を隅から隅まで声に出して読む」ということを取り入れました。その結果が点数にも現れたのだと思います。ここでも、「準備」の大切さを実感したテストでした。

二学期は、二大行事や定期テストがあります。この一学期で学んだ「準備」することを大切に、一学期よりも、自分自身、クラス、学年がもっとより良くなるように力を尽くしていきます。

二年生代表 清野 来々

私たち一年生が大江中に入学してから、約四か月が経ちました。この四か月で感じたことが二つあります。

一つ目は、中学生になってからの変化です。左沢小学校、本郷東小学校、虹の丘小学校の三つの小学校から集まった私たちですが、みんな一つの輪となって仲良く楽しく生活しています。新しい仲間、部活動、生徒会活動など、中学校に入学してから様々な変化があり、挑戦することも増えてきました。部活動では、地区総体や大会に向けて、それぞれ練習や応援など、自分の役割を果たせるように頑張りました。

二つ目は、学習・生活・関わりでの成長です。一学年自治会で決めたスローガンは「Lower 一人ひとりの個性を大切に」です。一人ひとりの存在や個性を大切にすることを大きな目標とし、五十人でスローガン達成に向けて頑張っています。

学習面では、教えあいや反応などを大切に授業に臨むことができてきた。その一方、授業態度が悪かったり、提出期限を守れていなかったりと課題もありました。今後は、授業をして下さる先生や真剣に授業に向き合う仲間の気持ちになって、行動や言動を考えていきたいです。

次に生活面です。生活面では、すれ違った人に爽やかなあいさつをすることができました。あいさつは多くの人ができていましたが、五分前行動ができなかったり、給食準備までの時間が長かったりと、時間を守ることはあまりできませんでした。今後は、時間を守られていない仲間がいたら、優しく声をかけていきたいです。

最後に人との関わりについてです。一学年全体としては、出身小学校関係なく、いろいろな人と仲良くすることができています。ですが、一定の人としか関わることができない人や、人が嫌がるような言動をしている人もいます。今後は、「自分だったら…」と、相手の気持ちを考えて行動していきたいです。

明日からは、中学校生活で初めての夏休みに入ります。学習や生活など、一学期で学んだことを夏休みも続けて、二学期は一歩前進した状態でスタートできるように頑張ります。そして二学期は、一人ひとりが一輪の花のように輝けるような学年を作っていきたいです。

一学年代表 高橋 彩芽

大江中生の活躍

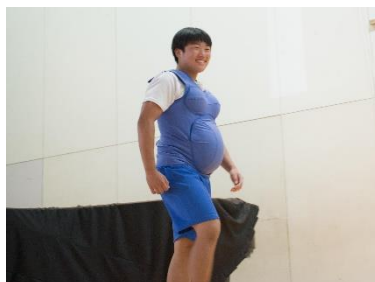
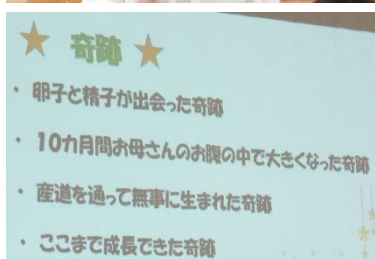
- ◎2024 チビッコ空手道選手権大会 2025 グランドチャンピオン大会選抜大会（5/5）
選抜中学男子中重量の部
◆優勝 設楽 昂輝②
- ◎第29回高畠町中学校交流卓球大会（5/26）
◆第2位 男子団体
- ◎全日本軟式野球山形地区予選（6/1～2）
◆第2位 大江中・陵西中・西川中合同チーム
- ◎第29回少年少女空手道選手権大会オープントーナメントグランドチャンピオン決定戦（6/22）
中学2年男子無差別級の部
ベスト8 設楽 昂輝②
- ◎2024 年度山形県卓球選手権大会西村山地区予選会（7/6）
男子13歳以下シングルス
◆第3位 菊地耕太郎①、大場 陽向①
- ◎第55回村山地区吹奏楽コンクール（7/13）
◆優秀賞 吹奏楽部 県大会出場決定！
- ◎第63回山形県吹奏楽コンクール（8/3）
◆銀賞 吹奏楽部

新任の先生の紹介

渋谷優子先生の育児休業代理講師として、陵東中学校より、岡崎奈美先生が2学期からご勤務されることになりました。あじさい学級担任、1年生の国語の授業、吹奏楽部と地域文化部の副顧問を担当いただきます。また、これまで育児休業代理講師であった、林英理先生は、学習生活支援員として本校に勤務していただくことになります。どうぞよろしくお願いいたします。

「いのちのすばらしさ」～いのちの教育講話～

7月25日に、天童市民病院の結城けいこさんを講師として、いのちの教育講話を開催しました。事前に保護者の方から「名前の由来」「生まれた時の様子」も聞き講演会を迎えました。私たちが今こうして生活できているのは「奇跡」なのだという話や、妊婦体験、赤ちゃん（人形）を抱っこさせていただきました。改めて「いのち」について考えることができました。



1年1組 荒木奏さん ～由来は、音楽を奏でるように、自分らしく素敵な人生を奏でられるように～
＜感想＞

生まれたことや、今みんなで勉強できることは奇跡だと分かりました。私たちは、親を幸せにするために生まれてきたとおっしゃっていたけど、逆に私たちが親に幸せにしてもらっている方なので、これから大人になるにつれて、親にも幸せを与えられるように、この話をいつまでも忘れないようにしたいと思いました。

1年1組 仲田花梨さん ～由来は、りんとした、花のような人～

＜感想＞

私たちが生まれたことは、奇跡の連続なんだと分かりました。また、雲の上で姉弟や親を選んでいたことを初めて知ることができました。赤ちゃんに話しかけたり、笑わないと亡くなってしまうことにびっくりしました。ごはんや清潔さを保てば生きていられると思っていました。大江町まで来て貴重な話をしてくれて、将来のためにもなってくれそうです。自分の命を大切に過ごしていきたいです。

2年1組 伊藤夏希さん ～“夏”は夏に生まれたから。“希”は姉の名前が「希」なので、姉と喧嘩せずに仲良く生活するというのが由来～

＜感想＞

「自分が知らない間に誰かを幸せにしている」という言葉を聞いて、少し自分に自信がついたような気がしました。私が生まれてきたこと、友だちと一緒に話せること一つ一つが奇跡なんだと思いました。これからも普通に生活できることや不通にご飯が食べられることが当たり前だと思わずに一つ一つのことに感謝して生活したいと思いました。

3年1組 若松璃仁さん ～由来は“璃”は瑠璃という宝石から。“仁”は人を慈しみ、他人を思いやる仁徳のある人に～

＜感想＞

私は稀に自分の存在する意味について考え、暗いことばかり考えてしまいます。今日のお話を聞いて、自分の命の大切さや生きることの大切さを学び、自分とは奇跡そのものなのだと分かりました。また、少しずつばかり気が楽になった感じがしました。今からさらに両親やその他家族、先生方や友達など、支えてくれて愛をくださった方々に感謝を忘れないようにしたいと思いました。そして、人を傷つけないことを心に刻み、生きていきたいです。

『金澤翔子揮毫パフォーマンス×金澤泰子講演会』

7月29日に、地域人権啓発活動活性化事業が、本校のPTA親子研修会と大江町・山形県人権啓発活動地域ネットワーク協議会がタイアップして開催されました。金澤翔子さんが「飛翔」の字を揮毫し下さり、その後母親の泰子さんが、「ダウン症の娘と共に生きて」の演題のもと講演をして下さりました。「周りの人を純粋に喜ばせたくて」という思いが強い翔子さんは、講演の中でダンスも披露して下さいました。子どもを育てる親の気持ちに共鳴された方も多かったのではないのでしょうか。同じ親としても多くのことを学ばせていただく機会となりました。



私は、今回の講演会で、差別のない世の中になるにはどうすればいいのかとこれからも考え深めていきたいです。そして、金澤翔子さんの「飛翔」という力強く迫力のある、元気づけられる文字に感動しました。これからもたくさんの講演会を期待しています。

貴重な時間を過ごせました。翔子さんのパフォーマンスの「飛翔」で感動したし、言葉には表せない何かを感じました。そしてあの字を見るときなぜか笑顔になりました。そして泰子さんの講演を聞いて、大変な道のりだったと思うけど、お互いを信じてここまで来ているんだなと思いました。娘への愛をとっても感じました。私も「できない」と決めつけなくて、失敗しても意味のあることだと信じて日々行動していきたいです。本当にありがとうございました。

なお、「飛翔」の書は、金澤さんより本校に寄贈していただきましたので、校内に掲額する予定です。ご来校の際はぜひご覧ください。

●今後の日程（予定）

8月 9日（金）	～11日（日）	東北中学校水泳競技大会（山形市）
13日（火）	～16日（金）	学校閉庁日
23日（金）		2学期始業式
26日（月）		課題テスト
9月 2日（月）		地区英語弁論大会
10日（火）		地区少年の主張大会
14日（土）		吹奏楽部定期演奏会
21日（土）	～22日（日）	地区新人戦
23日（月）	～25日（水）	振替休業日
30日（月）		2学期中間テスト